

会員名： 林木育種センター九州育種場

第110回九州林政連絡協議会 報告事項

森林・林業・木材産業における令和7年度の実施に関する報告事項

(表題) 九州における特定母樹の申請・普及について

(概要)

○特定母樹の指定状況

令和7年6月末現在で九州管内の特定母樹は、スギエリートツリー18系統、第一世代精英樹の少花粉スギ品種7系統、低花粉スギ品種2系統、第一世代精英樹12系統、サガンスギ4系統、ヒノキエリートツリー10系統の計53系統となっています。

今年度、スギ2系統・ヒノキ4系統について、特定母樹の申請を行うとともに、引き続きスギエリートツリーの開発を進めるため、育種集団林（第三世代）の設定を行うこととしています。

○特定母樹の原種配布状況

スギ特定母樹の原種配布は平成26年度から開始し、令和6年度末現在で累計28,573本を各県及び認定特定増殖事業者からの要望に応じ配布しています。

また、ヒノキ特定母樹については、平成30年度から令和5年度までに215本、令和6年度に170本の原種配布を行いました。

今年度も要望を踏まえ原種苗木の育成を進めていきます。

○特定母樹の原種配布後の九州育種場の取組

各県や認定特定増殖事業者を対象に、会議等において育種情報の提供を行うとともに、採穂木の仕立て方、コンテナ苗生産、つぎ木など採種穂園の管理、増殖生産技術に関する技術指導を実施しています。

今年度も現地または育種場での技術指導を行いますので、希望される場合には、九州育種場ホームページの「視察・見学、講習の受入れについて」からご依頼下さい。

○認定特定増殖事業者の状況

九州管内の「認定特定増殖事業者」は、令和6年度に7者の方が認定を受け、令和6年度末現在で、福岡県(4)、佐賀県(1)、長崎県(2)、熊本県(15)、大分県(4)、宮崎県(8)、鹿児島県(9)内の企業、樹苗組合、森林組合及び個人の計43者となっています。

今年度も新規認定事業者の参入が予定されています。

○エリートツリー特性表（九州育種基本区・スギ）を作成・公表

令和6年3月に作成・公表したスギのエリートツリー特性表のデザイン等を更新し、ISBNを取得したうえで、令和7年3月に九州育種場ホームページで公表しています（九州育種場ホーム>研究紹介>研究成果>特性表）。造林用に特に推奨したい、特定母樹（第一世代精英樹を含む）については、成長特性、材の強度、発根率、花粉症対策の特徴が一目でわかるように類別化した図で示しています。

（添付資料あり）

エリートツリー特性表

九州育種基本区・スギ



ver.1.1



国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター

森林総合研究所 第5期中長期計画成果33 (林木育種-10)

Forest Tree Breeding Center, FFPRI

III 代表的なエリートツリーの特性

1. スギ九育 2-114 (特定 29-49)

成長特性		通直性		材質特性		繁殖特性		その他
初期成長	材積	幹	根元	等級	測定年次	発根率	GA雄花	
5	5	4	3	E70	41	4	2	

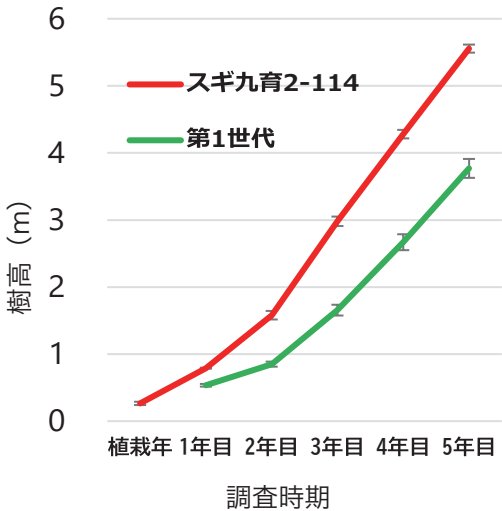
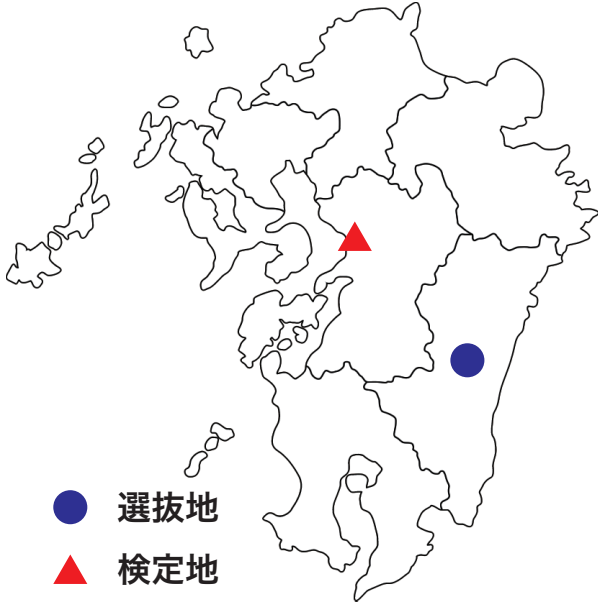
選抜育種区	南九州	親系統選抜地	熊本県、大分県
検定林所在地	熊本県	原種の保存場所	林木育種センター九州育種場

特 性

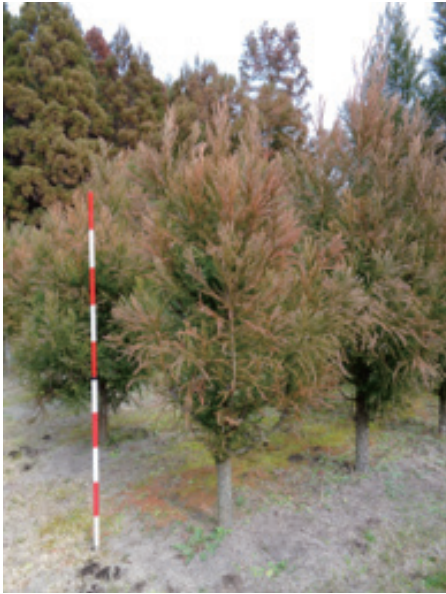
初期成長(5年次)と材積成長(15年次)が優れ、幹の通直性と材質がやや優れています。発根率がやや高く、GA雄花着花量はやや少ない系統です。

検 定 地 域

南九州育種区で選抜され、中九州育種区の試験地で検定されています。



▲図 スギ九育2-114の初期成長
九州育種場内に植栽。エラーバーは標準誤差。

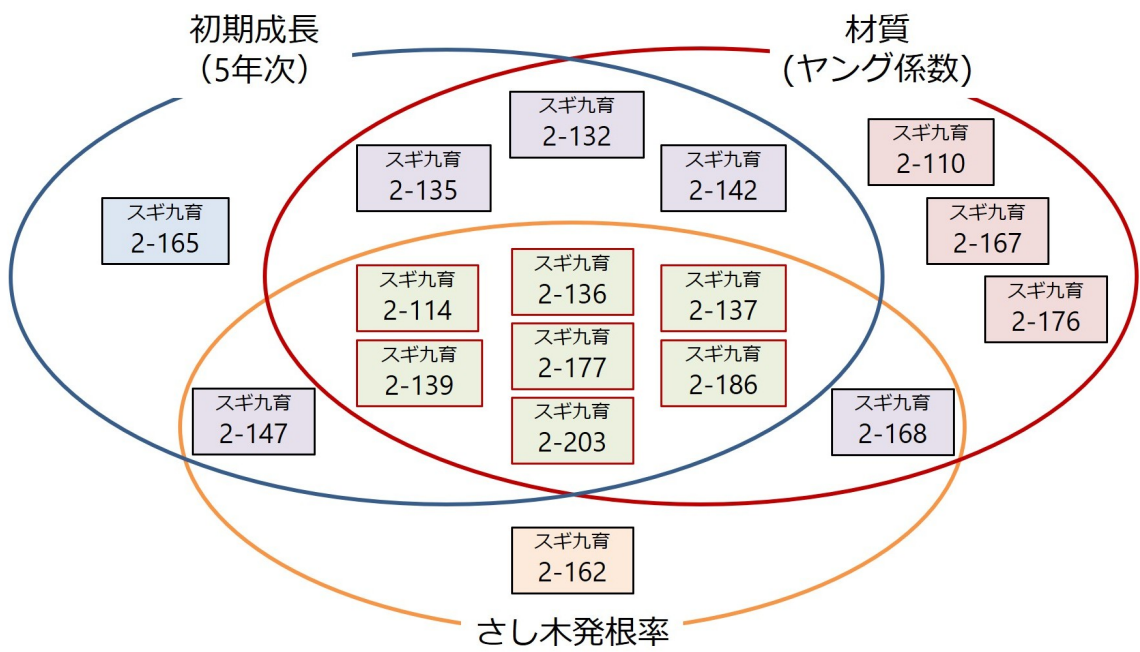


▲採穂台木 (九州育種場内)
ポールは高さ2m

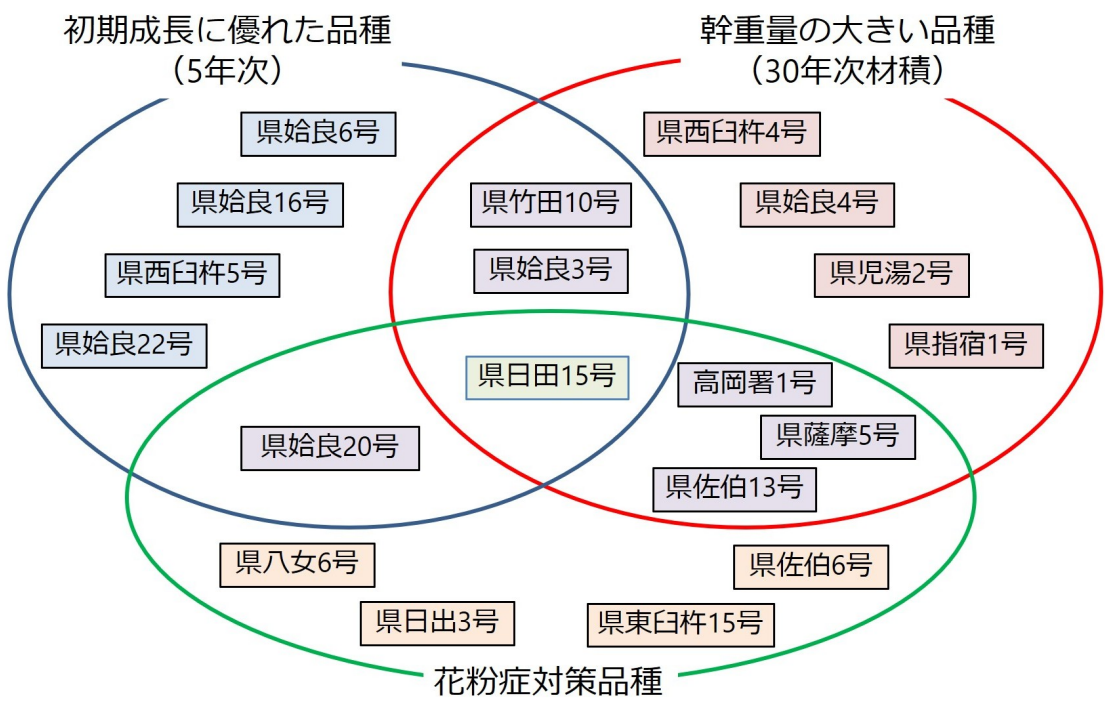


▲通直性 (14年生)
ポールは高さ5m

1. エリートツリー由来



2. 第1世代精英樹由来



※集合に含まれる系統はその特性が優れることを意味します。